

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設 (交通施設：広戸30号線道路改良舗装工事) 整備事業						
補助事業者名	津山市						
実施場所	津山市 大吉 地内						
補助事業の成果の目標	本路線は、道路幅員が狭隘であることから、車両等の円滑な離合が困難な状況である。 このため、本路線の改良舗装工事を行うことにより、離合困難を解消することで、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	測量設計 一式 用地測量補償 一式 道路改良舗装工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成19年度～平成27年度						
事業費及び交付金額		25年度 まで	26年度	27年度	28年度 予定	29年度 以降	計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	30,335,562	4,481,000	4,374,200			39,190,762
	交付金額	30,219,000	4,481,000	4,374,000			39,074,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	狭隘であった本路線を改良舗装したことにより、離合困難を解消することができた。 また、地域住民へは工事看板に交付金事業である旨を記載したこと、広戸地区演習場対策委員会で説明し、地域住民への周知を各委員に依頼したことで、協力を円滑に得ることができ、竣工後広戸地区演習場対策委員会で地域住民の意見を各委員に報告してもらったところ、離合困難が解消されたことで、生活環境が改善されたとの評価であった。						
事業の改善措置及び今後の対応	地元住民の要望に応えられるよう引き続き連絡を密にしながら維持管理を進めていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設 (教育文化施設：大吉学習等供用施設改修工事) 整備事業						
補助事業者名	津山市						
実施場所	津山市 大吉 地内						
補助事業の成果の目標	老朽化に伴う機能低下が著しいとともに多目的トイレが男女混合となっていることから、地域住民の快適な利用に支障をきたしているところである。 このため必要な改修工事を実施し、地域住民が快適に利用できる環境を整える。						
補助事業の内容	便所改修等・一式						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		25年度 まで	26年度	27年度	28年度 予定	29年度 以降	計
	事業費	円 0	円 0	円 6,655,596	円	円	円 6,655,596
	交付金額	円 0	円 0	円 6,655,000			円 6,655,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>本事業の実施により、機能低下が回復した。また多目的トイレが男女別となり快適な利用が可能となった。事業完了後に、広戸地区演習場対策委員会で地域住民の意見を報告してもらったところ、「非常に清潔になった」「男女別となり利用しやすくなった」等、高い評価を得られた。</p> <p>また、施工中の工事看板及び広戸地区演習場対策委員会での説明により、地域住民への周知を図ることが出来た。</p>						
事業の改善措置 及び今後の対応	地元住民の要望に応えられるよう、引き続き連絡を密にしながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設 (交通施設：広戸61号線道路改良工事) 整備事業						
補助事業者名	津山市						
実施場所	津山市 大吉 地内						
補助事業の成果の目標	本路線は、道路側溝の老朽化により路面排水に支障を来しており、降雨時には、民有地において浸水被害が生じている状況である。 このため、本路線の道路側溝改良工事を行うことにより、排水機能を向上させることで、浸水被害を解消し、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	測量設計 一式 道路改良工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成27年度						
事業費及び交付金額		25年度 まで	26年度	27年度	28年度 予定	29年度 以降	計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	1,486,470		3,950,800			5,437,270
	交付金額	1,486,000		3,950,000			5,436,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	路面排水に支障を来していた本路線を改良したことにより、排水機能を向上させることができた。 また、地域住民へは工事看板に交付金事業である旨を記載したこと、広戸地区演習場対策委員会で説明し、地域住民への周知を各委員に依頼したことで、協力を円滑に得ることができ、竣工後広戸地区演習場対策委員会で地域住民の意見を各委員に報告してもらったところ、排水機能が向上されたことで、民有地の浸水被害が解消し、生活環境が改善されたとの評価であった。						
事業の改善措置及び今後の対応	地元住民の要望に応えられるよう引き続き連絡を密にしながら維持管理を進めていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。